

令和7年度 くすのき苑 地域連携推進会議 議事録

1. 日時

- ・ 令和7年12月3日（水） 午後2：00～午後3：30

2. 場所

- ・ くすのき苑 新食堂

3. 日程

- ・ 開会
- ・ 参加者紹介
- ・ 地域連携推進会議の概要について説明
- ・ 法人の概要と、くすのき苑の取り組みについて報告（別紙1・2）
- ・ 苑内見学
- ・ 質疑応答
- ・ 閉会

4. 参加者

- ・ ご利用者様 [REDACTED] 様
- ・ ご利用者様ご家族 [REDACTED] 様
- ・ 地域関係者 [REDACTED] 様
- ・ 芽吹学園施設長 [REDACTED] 様
- ・ ナーシングピア船形管理者 [REDACTED] 様
- ・ 野田市役所 [REDACTED] 様

法人より

- ・ 総合施設長
- ・ 総合施設長代理
- ・ 副施設長

5. 質疑応答にて、いただいたご意見ご質問について

- ・ 現在の施設での生活は楽しいか、食事などは落ち着いて摂れているか等、ご利用者様への質問があった。概ね肯定的な返答をされていた。また、この方は、グループホーム等への地域移行は望まず、現環境での生活を続けたいと希望されていた。

- ・ 高齢化や疾病等で、施設の有する機能を超えるような介護や医療的ケアが求められる場合、前述のご利用者様のように施設での生活を継続されたいという方に対して、サービス品質の担保や意思決定支援の視点も交えつつ、どのような対応が望ましいか、意見が交わされた。
- ・ 入所待機者の話題になり、定員を増やすことは検討しないのか、という質問が上がった。千葉県行政では入所系施設を縮小したい方針であり、新設や既施設の増床は困難であると答えざるを得なかった。
- ・ 入所施設の利用枠の乏しさから、強度行動障害者の受入先についての話題に派生した。現在野田市では約 90 ヶ所のグループホームが運営されているが、その多くは株式会社が母体の、精神障害者を対象とした事業所であり、知的及び身体障害者の支援が行えるような専門性を有するところは（営業上は 3 障害への対応を謳っていても）非常に限られるということであった。その要因として、世話人の他に、生活支援員のような専門性を持った人員を配置しても、現行制度の立て付け上、収益化が望めないためでは、という意見が上がった。
- ・ その他、くすのき苑では令和 5～6 年に大規模改修を行ったが、工事中のご利用者様の生活への影響や、そのケアについての質問が上がった。

別紙1

くすのき苑

令和7年度 地域連携推進会議

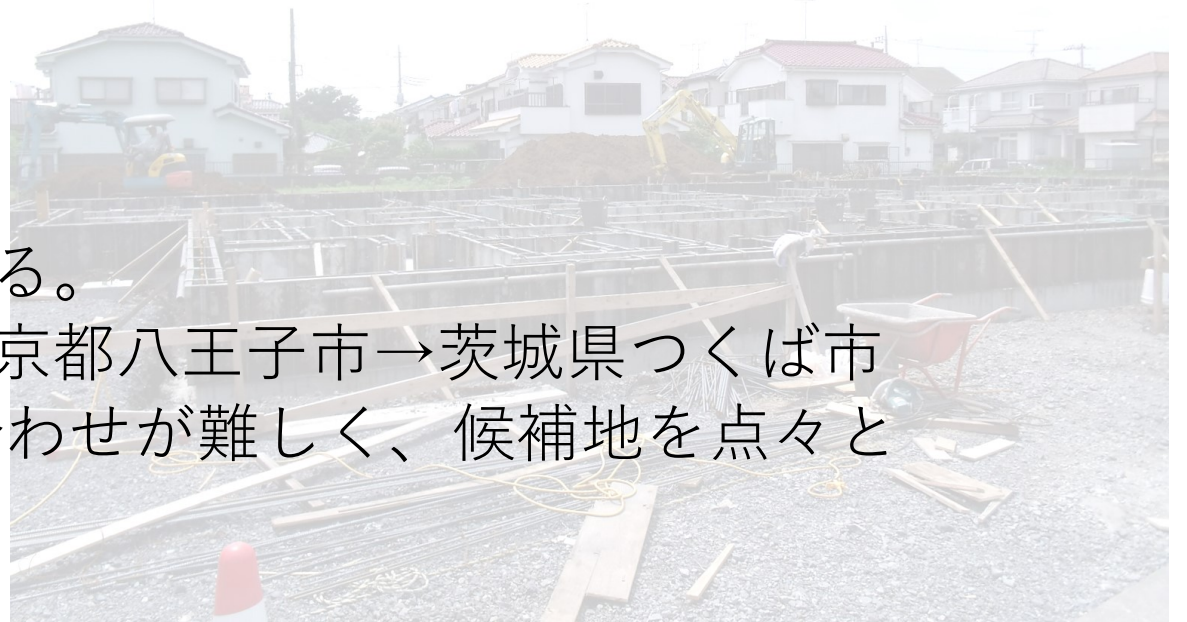
くすのき苑 開所に至るまで

1990年～1991年

- 東京都文京区で自閉症児の療育を行っていた、畑中こども研究所に子供を通わせていた親たちで、「親亡きあと、安心して子供が生活できる環境づくり」をテーマに『施設づくり懇話会』を開催。翌年、同会の参加者13名で『湯島親の会』を発足。

1991～1996年

- 施設建設のための用地探しを始める。
- 北海道帯広市→東京都大島町→東京都八王子市→茨城県つくば市
…諸条件や各地の行政との擦り合わせが難しく、候補地を点々とする。



1996年

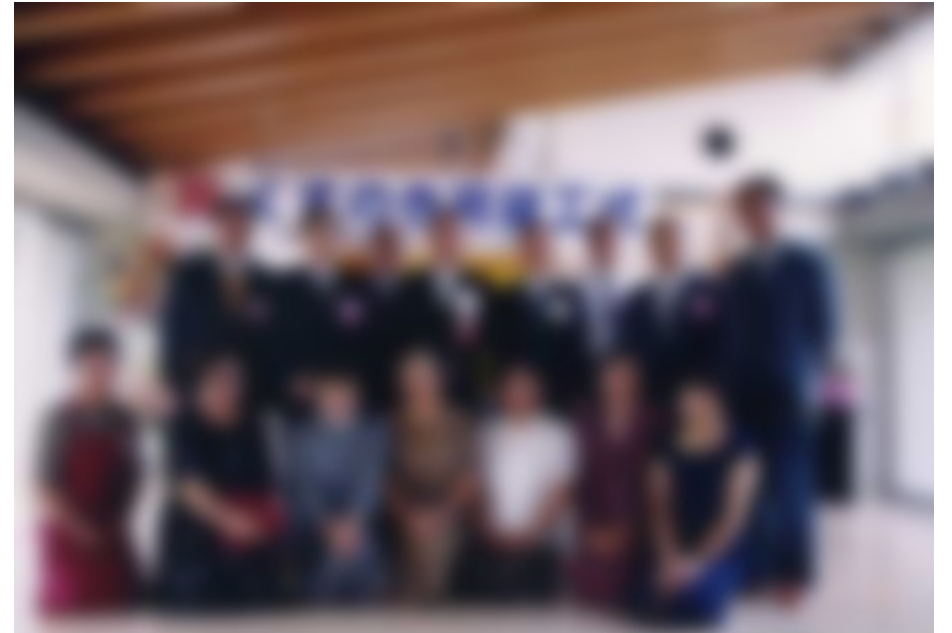
- 千葉県関宿町での施設づくりを本格化。
- 会の名称を『いちいの会』に変更。

1997年～1999年

- 現在地に用地を確保。
- 行政への申請、地域との協議を経て、会を社会福祉法人化する。

2000年

- くすのき苑竣工・開所。
- 利用者様の受入を開始する。



法人の沿革

- | | |
|-------|---|
| 1999年 | 社会福祉法人いちいの会認可 |
| 2000年 | 知的障害者入所更生施設『くすのき苑』開所
(2011年 障害者支援施設に移行) |
| 2004年 | 千葉県中核地域生活支援センター『のだネット』開所 |
| 2006年 | 共同生活援助事業所『グループホームかえで』開所
(2025年現在、5ヶ所運営)
分場『ワークショップくすのき』開所
(2008年 指定生活介護事業所に移行) |
| 2012年 | 相談支援センター『いちいの木』開所 |

いちいの会 各事業所の紹介

障害者支援施設『くすのき苑』

- 利用者様 定員50名 短期入所受入 8 名（現状 2 ～ 3 名）
- 職員 常勤29名 非常勤 4 名 補助 7 名
- 成人の知的障がい者を対象とした、日中活動や余暇活動を含めた、生活全般の支援。



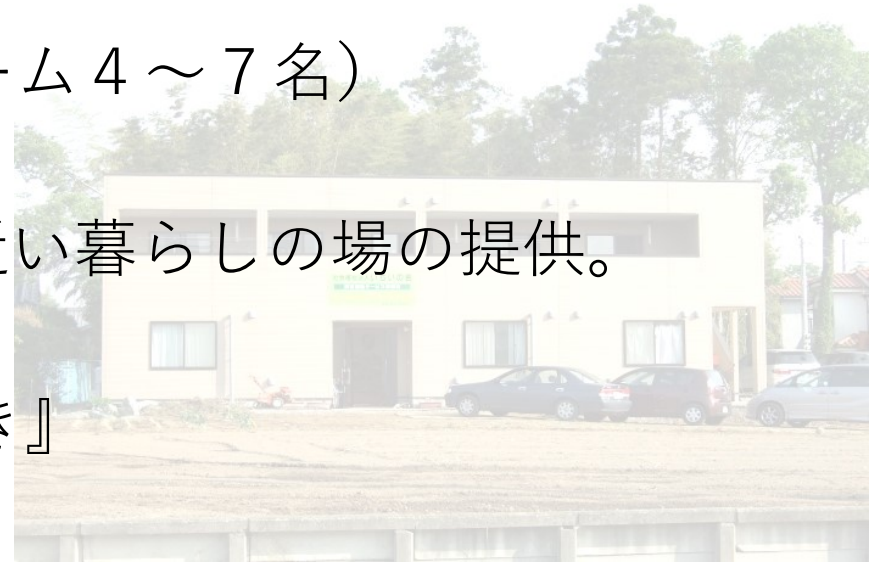
千葉県中核地域生活支援センター『のだネット』

- 職員 常勤 3 名 非常勤 2 名
- 24時間365日体制で、地域の様々な困りごとを分野の境なく横断的に受け付ける、千葉県からの委託事業。



共同生活援助事業所『グループホームかえで』

- 利用者様 定員25名 5ホーム運営（各ホーム4～7名）
- 職員 常勤3名 非常勤33名
- 成人の知的障がい者を対象とした、地域と近い暮らしの場の提供。

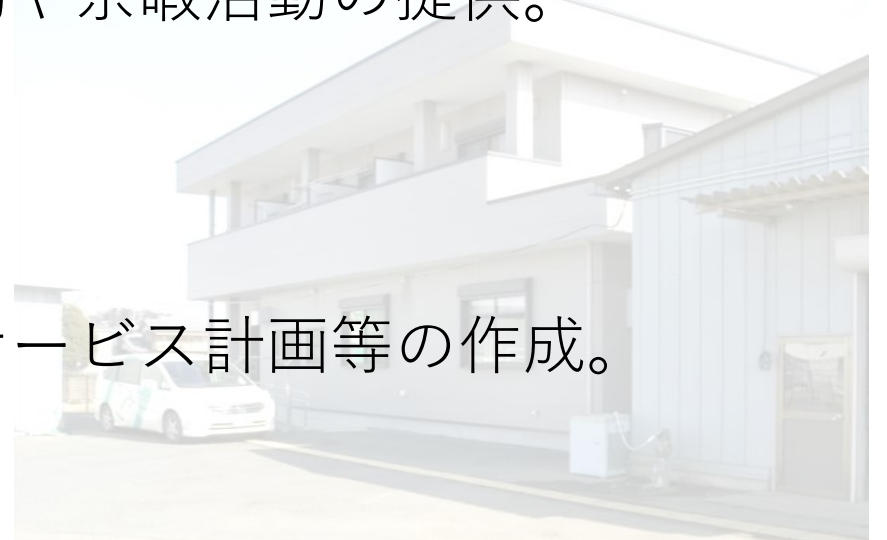


指定生活介護事業所『ワークショップくすのき』

- 利用者様 定員30名
- 職員 常勤7名 非常勤4名
- 成人の知的障がい者を対象とした、日中活動や余暇活動の提供。

相談支援センター『いちいの木』

- 職員 常勤1名 非常勤1名
- 障がいを持つ方を対象とした、相談受付やサービス計画等の作成。



くすのき苑について

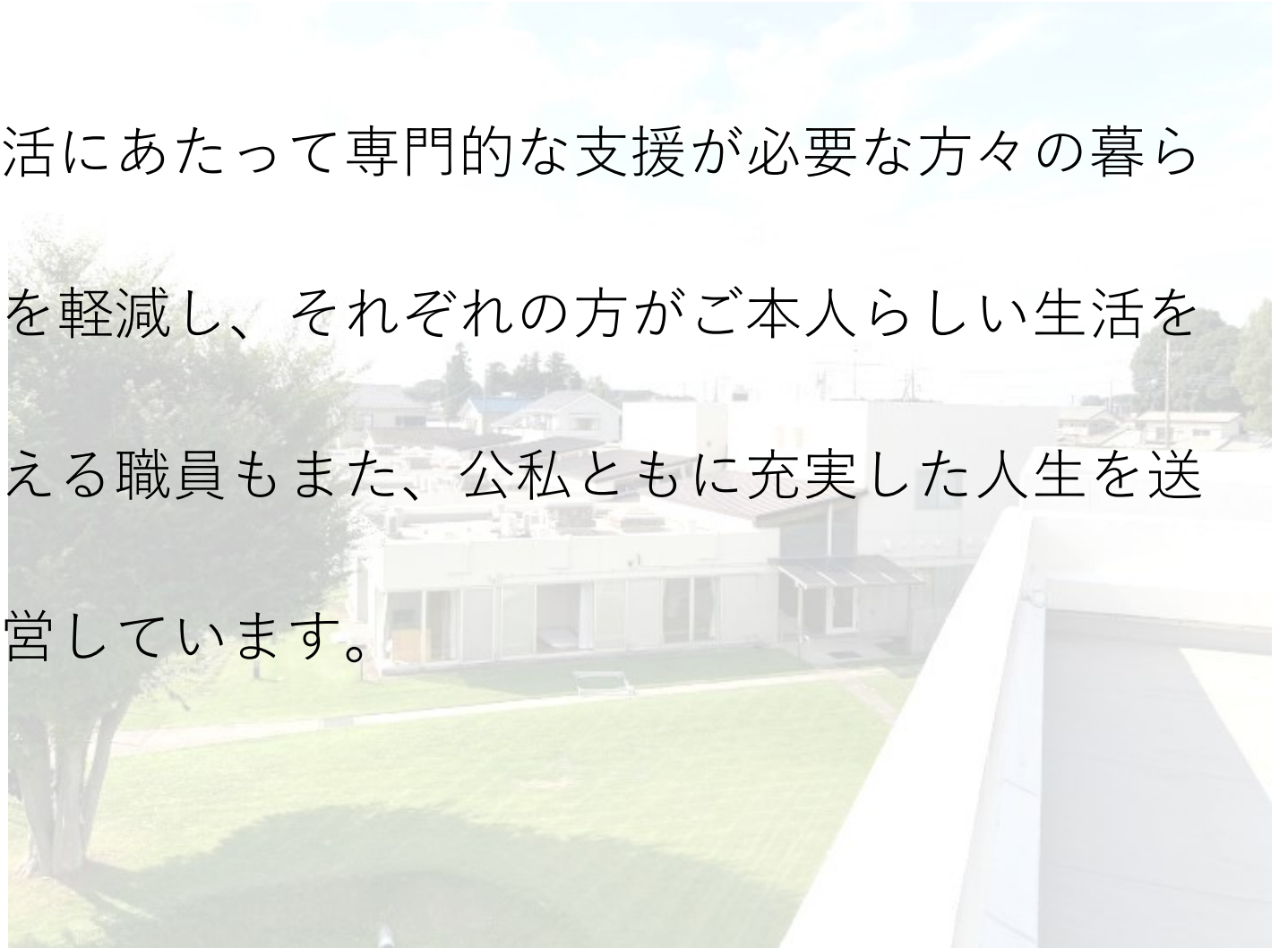
知的障がいが理由で、生活にあたって専門的な支援が必要な方々の暮らしの場です。

障がいによる生きづらさを軽減し、それぞれの方がご本人らしい生活を送れること。

同時に利用者の皆様を支える職員もまた、公私ともに充実した人生を送れること。

このふたつをテーマに運営しています。

[くすのき苑の平均的な1日](#)



数字で見る、くすのき苑の利用者様

年齢分布

		～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計
男性	1寮	1	2	2	2	4	1	1		13
	2寮			4	15	4				23
	生介			2		1		1		4
女性	1寮				10		1	1		12
	生介		1		1				1	3
合計		1	3	8	28	9	2	3	1	55

平均年齢

1寮	男性	4 5 . 0 歳	最年長：7 2 歳 最年少：1 9 歳
	女性	4 7 . 4 歳	
2寮	男性	4 3 . 4 歳	
生活介護	男性	4 7 . 0 歳	最年長：8 4 歳 最年少：1 9 歳
	女性	6 5 . 5 歳	
全体		4 5 . 8 歳	

障害支援区分

・入所の皆様

	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	総計人数	平均
男性		2	4	2 8	3 4 + 措置 1 名	5. 7 6
女性			4	9	1 3	5. 6 9
合計		2	8	3 7	4 7 + 措置 1 名	5. 7 4

・入所 + 通所の皆様

	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	総計人数	平均
男性		3	5	3 1	3 9 + 措置 1 名	5. 7 2
女性	1		5	9	1 5	5. 4 7
合計	1	3	1 0	4 0	5 4 + 措置 1 名	5. 6 5

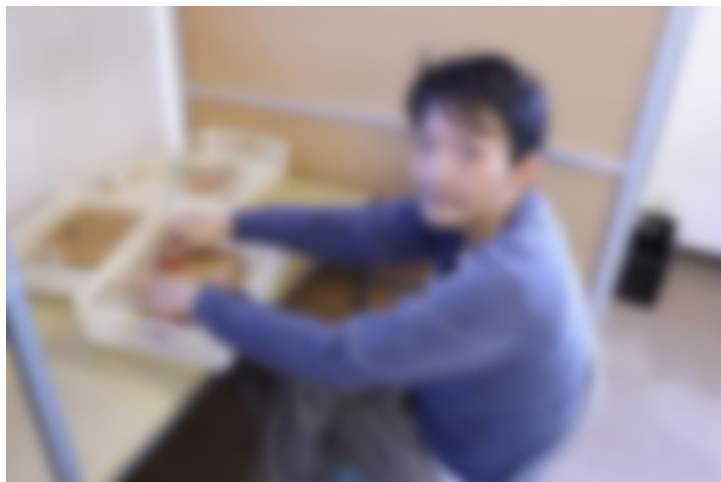
日々の活動

- ビリーブ班（1寮） 身体づくり中心の取り組み



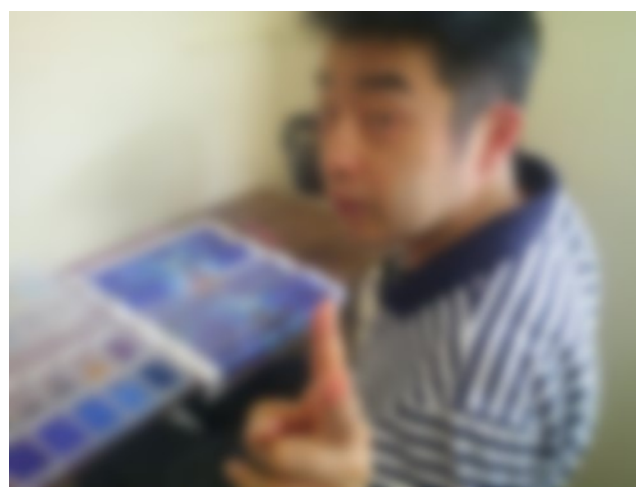
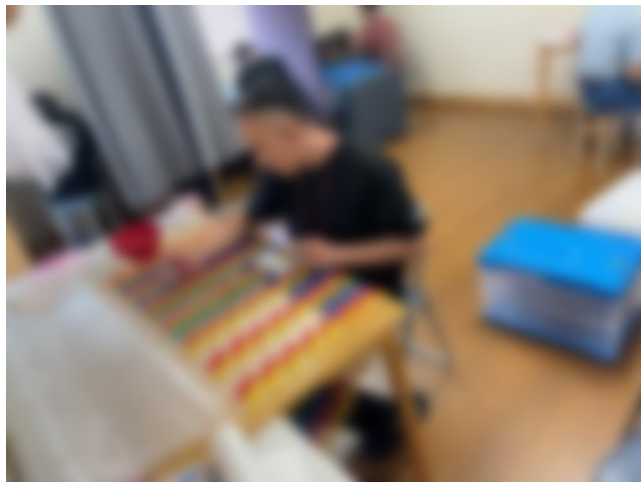
• ステップ班（2 寮）

自閉症の方向けの取り組み＋身体づくり



• マーチ班（2 寮）

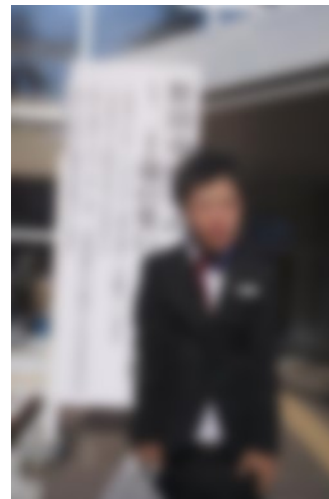
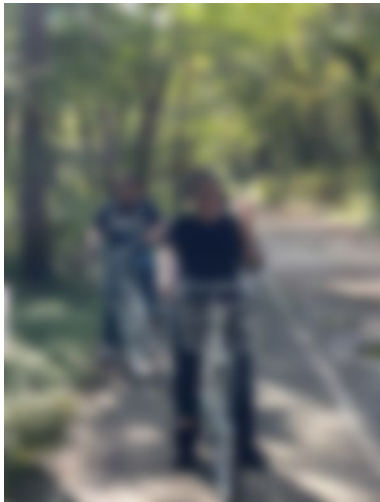
自閉症の方向けの取り組み＋製作活動



- ・ 季節の行事

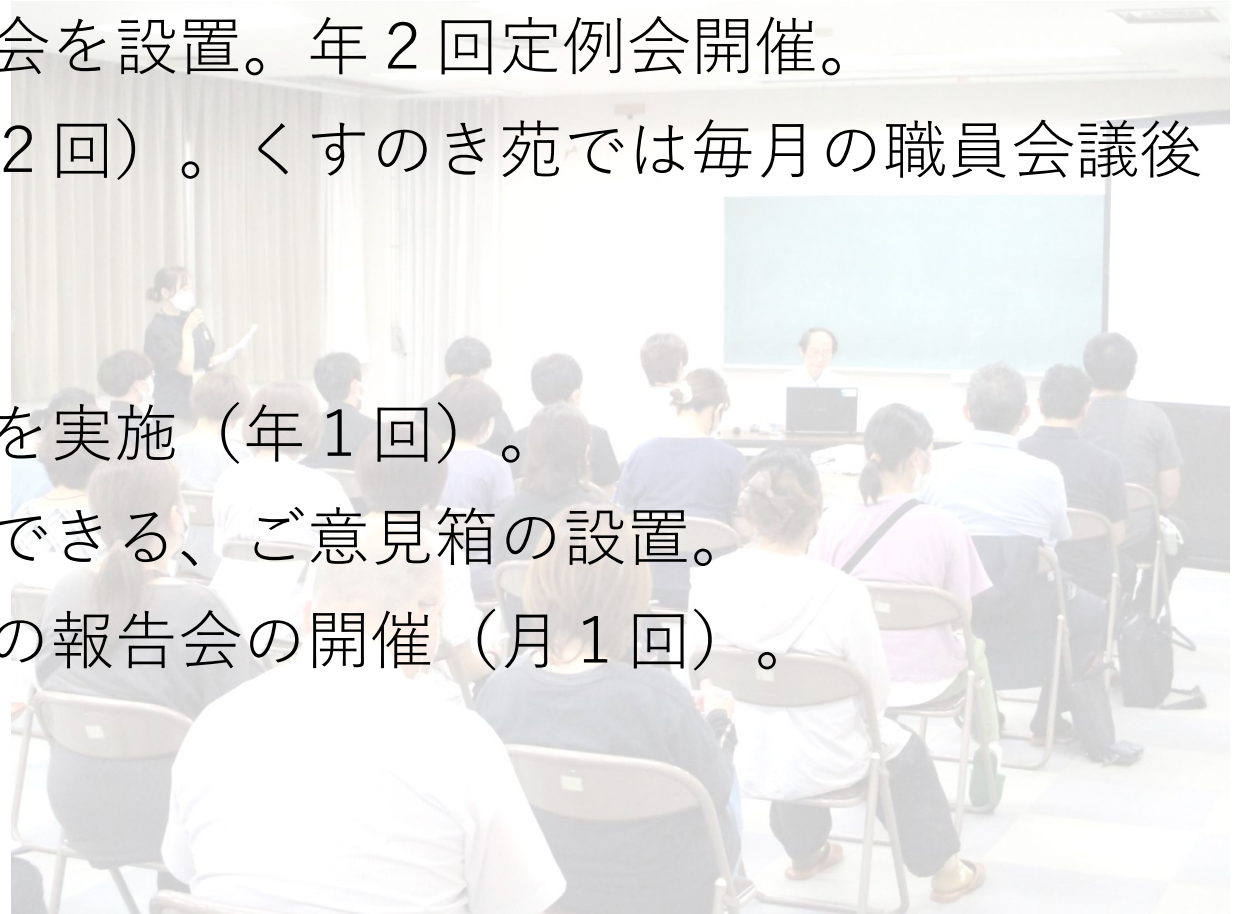


- ・ 地域参加や施設外での活動



権利擁護の取り組み

- 虐待防止・身体拘束適正化委員会を設置。年2回定例会開催。
- 法人全体での研修会を開催（年2回）。くすのき苑では毎月の職員会議後に事例検討会等を企画。
- 外部研修への職員派遣。
- 職員対象の権利擁護アンケートを実施（年1回）。
- 利用者様、職員、来苑者が投函できる、ご意見箱の設置。
- 第三者委員の設置、各事業所との報告会の開催（月1回）。



別紙2

くすのき苑の平均的な1日

時間	利用者様	職員の業務	サービス内容
6：30	起床	起床の声かけ トイレ誘導 着替えの介助 検温	<p>起床や就寝など、日課の区切りは目安として設けていますが、利用者様それぞれのペースにあわせて幅を持たせています。例えば、朝6時前に起きている方もいれば、7時までゆっくり休んでいる方もいます。</p> <p>着替えや食事、入浴など身の周りのことは、利用者様の得意不得意に合わせて介助や支援の度合いを変えています。見守りだけで大丈夫な方、ほぼ全ての動作に助けが必要な方など、人それぞれです。</p> <p>日中は利用者様のニーズや目標別にグループを組み、活動しています。季節の行事や、旅行などのイベントも実施しています。</p> <p>また、買い物の付添や外食など、個人の希望に合わせての活動も提供しています。</p> <p>利用者様に提供する活動や支援を組み立てるのも職員の仕事です。知識や工夫が必要な場面も多いですが、担当の職員を中心にチームで連携して、サービスの実現にあたっています。</p> <div><div>どんな仕事？</div><div>どんな職場？</div></div>
7：30	朝食	朝の服薬介助 食事介助 歯磨き介助 身だしなみ介助	
9：30	午前の活動	グループ別に活動提供 <ul style="list-style-type: none">身体機能維持の運動軽作業レクリエーションなど	
12：00	昼食	昼の服薬介助 食事介助 お昼休みの余暇提供	
13：30	午後の活動	グループ別に活動提供 <ul style="list-style-type: none">身体機能維持の運動軽作業レクリエーションなど	
15：30	入浴	検温 入浴介助	
18：00	夕食	夜の服薬介助 食事介助 歯磨き介助	
21：00	就寝	着替えの介助 眠前の服薬介助 トイレ誘導	